

# デジタルイノベーションの推進

(143,771 千円)

## 1 ひろしまデジタルイノベーションセンター運営事業

(国・自・基金果実 109,394 千円)

### 【事業目的】

現状	○第4次産業革命が進展するなか、生産性を向上し国際競争力を強化するためには、ITを活用した取組(MBD など)を本格的に導入する必要がある。
課題	○IT を活用した取組を本格的に実施するために必要となるスパコンを活用できる環境が、地域にない。 ○スパコンなどの高性能計算機能や、計算に必要な多種に及ぶソフトウェアは高額であり、単独で導入することは企業、特に中小企業にとっては困難である。
目的	○高性能計算機能と必要なソフトウェアを従量制により安価に利用できる環境の提供と、デジタル技術に係る人材育成を実施する拠点を整備することで、IT を活用した取組を地域企業が着手することのハードルを下げ、地域企業全体への普及を促進する。

### 【事業概要】

○高性能計算機能及び必要な CAE ソフトウェアの安価な利用環境を提供する。

○デジタル技術に係る拠点として、広く地域企業の活用を促進し、技術のニーズに対応する。

事業項目	概要
デジタル技術を活用する環境の提供(高性能計算機能・ソフトウェア)	○リモート利用等各種利用者のニーズに合わせてサービスを提供できる人材を配置 ○スパコンのクラウド利用環境及び高性能なワークステーション 7 台を整備 ○シミュレーションの目的に応じたソフトウェアを複数整備
技術課題の相談に対する支援	○サイエンスパーク付近の産業支援機関及び大学等に協力を仰ぐ等、連携した対応を働きかけることで、地域企業の課題に対して、デジタル技術を活用した解決を支援する。

### 【年間目標】

指標	目標
デジタル技術を活用する環境の提供(高性能計算機能・ソフトウェア)	・端末ルーム稼働率 75%以上 ・新規利用 30 プロジェクト ・収入 42,000 千円
技術課題の相談に対する支援	・課題相談解決支援 12 件以上 ・相談からセンター利用へつながる案件 6件以上

## 2 ひろしまデジタルイノベーション推進事業

(34,377 千円)

(県・自 34,377 千円)

### 【事業目的】

現状	○第4次産業革命が進展するなか、生産性を向上し国際競争力を強化するためには、デジタル技術を活用した取組を本格的に導入する必要がある。
課題	○デジタル技術を活用した取組を本格的に実施するために CAE ソフトウェアを活用した解析ができる人材が、地域企業に不足している。 ○経営者、研究開発従事者の双方において、モデルベース開発(MBD)・CAE を自社に導入する必要性に関して十分な理解がなされていない。
目的	○CAE ソフトウェアを活用した解析の高性能計算処理ができる人材や、MBD の考え方を企業

	<p>に導入できる人材を、確保する。</p> <p>○デジタル技術を地域企業に導入するための啓発を行い、機運を醸成することで、CAE の導入を増やす。(HDIC の活用増にもつながる)</p>
--	--

### 【事業概要】

MBD の基本的な考え方を理解し、開発プロセスを俯瞰できる人材を育成するための研修を実施する。(MBD プロセス研修等)

CAE ソフトウェアを活用した解析の高性能計算処理ができる人材を育成する研修を実施する。(CAE 詳細設計研修等)

デジタル技術の活用に関する機運を醸成する。(啓発セミナー・CAE ソフトウェア紹介イベント等) エンジニア間の交流を促進するためのイベントを実施する。

事業項目	概要
MBD プロセス研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MBD プロセス研修</li> <li>・ MBD アドバンスド研修</li> <li>・ MBD エキスパート研修</li> </ul>
CAE 詳細設計研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 線形解析研修等、テーマ別に応用技術を習得する研修 (実践編)</li> <li>・ 材料力学等、工学理論を学び直し、現象に関する理解を深める研修 (理論編)</li> <li>・ ハンズオン研修 (長期)</li> </ul>
利用促進研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演会形式のセミナー</li> <li>・ CAE ソフトウェアの紹介セミナー</li> </ul>
エンジニアフォーラム等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エンジニアリングフォーラム 等</li> </ul>

### 【年間目標】

- ・ 周知の強化、需要を踏まえた研修の設定等により、受講者を確保することが必要
- ・ 継続して実施する研修について、常に内容の改善を図ることが必要
- ・ 関係機関と連携した研修の実施 (重複を防ぎ、周知を拡げる等)

指標	目標
MBD プロセス研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周知</li> <li>・ プロセス研修の拡大</li> <li>・ アドバンスド研修・エキスパート研修の確実な実施</li> </ul>
CAE 詳細設計研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修内容に関するニーズの把握</li> <li>・ 実利用につなげるハンズオンの支援</li> </ul>
利用促進研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セミナー内容に関するニーズの把握</li> <li>・ 参加者のフォロー</li> </ul>
エンジニアフォーラム等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な開催</li> </ul>